

平成30年度第2回「あいち森と緑づくり委員会」

- 1 日 時 平成30年10月23日（火）午前10時から
- 2 場 所 愛知県自治センター5階 「研修室」
- 3 出席者 あいち森と緑づくり委員会（委員9人）
肘井委員長、岡田副委員長、青山委員、伊藤委員、
唐澤委員、斉藤委員、竹内委員、中川委員、原委員
県（事務局）
農林水産部、総務部、環境部、建設部
- 4 議事(要約)等 以下のとおり
 - 1) 農林水産部農林基盤局長あいさつ
 - 2) 議題
 - ①あいち森と緑づくりバスツアー及びシンポジウムについて
 - ②あいち森と緑づくり事業評価報告書の概要版（冊子）の作成について
 - 3) その他

○議題①「あいち森と緑づくりバスツアー及びシンポジウムについて」

<事務局 資料1に基づき説明>

（委員長）体感ツアーは既に参加者募集中であり、シンポジウムも大枠は決まっておりますが、何かお気づきの点があればご意見お願いいたします。

（委員）体感ツアーの参加希望者は、現在どのくらいでしょうか。

（事務局）募集を開始したばかりのため、まだ取りまとめておりません。

（委員）最少催行人数はありますか。参加者が1人や2人でも開催しますか。

（事務局）昨年の体感ツアーでは定員を越える応募がありました。例年多くの方に参加いただいております。

（委員長）他にございませんか。

（委員）体感ツアーもシンポジウムも面白そうで良いと思います。事業内容のPRは、シンポジウムの中でどのように行う予定ですか。

（事務局）出演者の方には、事前に事業内容の説明をした上で、当日に来場者へ

PRしていただく予定です。

(委員長) 体感ツアーやシンポジウムの当日に、パンフレットやポスターなどでのPRも考えていますか。

(事務局) パンフレットの配布は予定しております。

(委員) シンポジウムは、大きく分けて2つのイベントがあるが、時間配分はどれくらいか。

(事務局) ヒロシさんのトークショーとエリック・ジェイコブセンさんの音楽ライブとトークセッションをそれぞれ約45分ずつ行う予定です。

(委員) その他には何をやる予定をしていますか。

(事務局) その他には、司会者による愛知県の森と緑のガイダンスを、映像を流しながら説明する予定です。また、LOVEあいちサポーターズとして「あいち広報大使」に委嘱されているSKE48さんへ出演を交渉しており、出演していただければ森と緑のクイズなどを計画する予定です。オープニングでは大村秀章知事によるご挨拶をいただく予定です。

(委員) わかりました。参加者募集はウェブページで行っているとのことですが、他にはこういった方法で周知していますか。

(事務局) チラシを各市町村や図書館、それから子供連れの若い主婦層へ周知するために児童館等へも配布しています。また、「Shufoo! (シュフー)」と称して、スーパーやドラッグストア、百貨店などのチラシが無料で見られるアプリがありますので、それを活用した周知も行っております。

(委員) イベントを行うこと自体が目的ではなく、いかにたくさんの方に参加してもらい、「あいち森と緑づくり事業」を知っていただくことが大切だと思うので、よろしくをお願いします。

(委員長) それでは、今の意見を参考に進めてください。次の議題、「あいち森と緑づくり事業評価報告書の概要版(冊子)の作成について」に移ります。事務局より説明をお願いします。

○議題②「あいち森と緑づくり事業評価報告書の概要版(冊子)の作成について」
＜事務局 資料2に基づき説明＞

(委員長) ただ今の事務局の説明について、質問・意見等ありましたらお願いします。現段階では資料2-3のような形に修正されています。事前にいただいた意見がまだ反映されていないところもありますが、その他何か意見があればお願いします。

(委員) デザインは公募で1社しか応募が無かったのですか。

(事務局) はい。

(委員) どのように募集しましたか。

(事務局) シンポジウム及び体感ツアーとあわせてプロポーザル方式で行い、県のウェブページで公募しました。

(委員) 事業評価報告書の概要版については、以前よりずっと見やすくなっています。あとは、デザインのグレードをもっと上げて欲しい。

(委員長) 受託した業者は、これまでも県関係の仕事の実績はありますか。

(事務局) 愛知県では他部局において実績があります。

(委員長) 皆様からの意見にもありましたが、大幅に見やすくなりました。さらにこうしたら良くなるなどの意見があれば、お願いします。

(委員) まだ表現が固く感じます。例えば、10ページの右下の「意識が醸成されます」の醸成というのは、とても固い表現です。もっと柔らかい表現のほうが、県民に親しみやすいと思います。

(事務局) 分かりやすい表現に修正します。

(委員長) 他に何かありますか。

(委員) 写真は、本事業に関するものに置き換えるということですが、より魅力的な写真を使うよう、しっかりと事務局で選定してください。

また、表紙に関してこれから調整していくとのことですが、表紙と4～5ページのデザインに関しては、奥山から都市までを表現するという意味では、共通していると思います。その表現を、どうしていくのでしょうか。例えば、表紙は抽象的な表現にして、4～5ページは具体的な表現にするなど、関連性を考えていくべきだと思います。

(事務局) 具体的にどういう事業でどういうことを行っているのか、パッと見て分かるような表現にしていきたいと思います。

(委員) 具体的なことは4～5ページで示すのですよね。ということは、表紙は抽象的かつパッと見て分かるようにということですかね。難しいですね。

(事務局) 引き続きしっかり吟味していきたいと思います。

(委員長) ありがとうございます。

(委員) 表紙のあいち森と緑づくり事業という文字が茶色であることに違和感があります。枯葉をイメージしてしまいますが、どうでしょうか。

(事務局) ひとそれぞれの感じ方に違いがあると思います。事業のイメージカラーは緑では、という意見もあります。イメージはとても大事だと思いますので、文字の色だけではなく背景もあわせて、しっかり吟味していきたいと思います。

(委員) 背景をこのままにしたら、またおかしなことになりますよね。チラシはもうこれで決定ですよ。

(委員長) 他に何かありますか。

(委員) 表紙が全体像を表していて、4～5ページで全体の概要を表している。更に、次の6ページ以降がそれぞれの事業の詳細になります。例えば、4～5ページを6ページ以降の目次のように使うと、よりわかりやすい構成になるのではないかと思います。現状だと、4～5ページと、6ページ以降の繋がりが分かりにくいので、見出し等で表現の方法をどちらかに合わせて繋がるようにすると、よりわかりやすくなるのではないかと思います。

(事務局) ありがとうございます。よりわかりやすくするため、4～5ページと6ページ以降の繋がりをもちょう検討させていただきます。

(委員長) 他に何かありますか。

(委員) 今年、台風24号の被害が大きく、東三河でも停電等がありました。長い所では4日間ほど停電が続きました。ちょうど、森林・林業技術センターに研修で行っていたのですが、鳳来地区でも3日間停電していました。森林整備の中に、公道沿いの整備があるが、6ページの4の「これからは」の中に、ライフラインを守りますというような言葉を入れた方がいいのではないかと思います。4日間、明かりも電話も通じず、結構大変な思いをした方もたくさんおり、痛感したと思います。

(事務局) 今後の10年間のあいち森と緑づくり事業では、防災・減災のためのライフラインの確保のために、公道沿い・河川沿いの間伐を重点的に進めていきたいと考えておりますので、記載させていただきます。

(委員長) ありがとうございます。

(委員) すごく細かいことですが、6～9ページに出てくる表の数字がセンタリングされています。数字を読むときは右端揃えの方が位が揃っていて読みやすいと思います。

(事務局) 修正します。

(委員長) 他に、何かございますか。では、私からも気づいた点をひとつ。“あなたの500円で”という言葉がずっと続くことに違和感があります。最初にしっかりと書いてあるので、それ以降はいらぬのではないのでしょうか。それから、4～5ページのイラストは分かりやすいと思いますし、先ほど委員が提案された目次のように使うというのも、すごく良いアイデアだと思います。しかし、里山のイラストは果樹園に見えます。また、都市緑化が屋上緑化のみに見えてしまうので、街路樹や都市公園等も含まれると良いかと思います。

(事務局) ご指摘いただきました4～5ページのイラストは、修正したいと思います。また、“あなたの500円で”というキャッチフレーズも、構成について再検討いたします。

(委員) 森林整備技術者養成等で、技術者の作業中の写真が掲載されています。私どもも、安全管理についてとても厳しく言われており、それを日々守って作業

に取り組んでおります。そうした中で、安全基準を満たさない写真を使用するのは問題だと思います。事務局でしっかりと確認してください。

(委員) イベントの開催に関わる人が多いのですが、イベントの開始時に、このイベントは「あいち森と緑づくり事業」で行っていますと伝えても、ほとんどの方が知らないのが現状です。次の10年で、もっと浸透できるといいなと思っています。そんな中で、説明しやすいパンフレット等があれば、伝えていきやすいと思います。私は園芸がメインですが、森や緑に興味がある人は沢山います。そういうことも含めて、パンフレット等を作成すると良いと思います。私も、仕事を通じて愛知県はこういう事に取り組んでいるということ、より多くの方に伝えていきたいと思っています。

(委員長) 何か、他にご意見ありますか。

(委員) イベントの開催ですが、NPO等の活動団体の支援というのは、かなり大きなポイントです。それを、どこに書いていくのでしょうか。

(委員) イベントの開催が、県が主催のものやNPO等が主催のものなど様々となっており、なおかつ内容についても農林水産部のものから、建設部や環境部といったものがあるのですが、実際概要版パンフレットを見ると、どこに掲載しているのか、その辺りをどう掲載していくのかを、よく考える必要があると思います。

(委員) イベントというと、単発的なイメージもあります。長期のイベントにも補助していると思うので、どこにどう入れるか検討が必要だと思います。

(事務局) イベントには様々なものがありますので、どう掲載するか検討していきたいと思います。

(委員長) 他にございませんか。

(委員) 私も、先ほどの委員長の意見と同じで、何度も“500円で”と書いてあることが気になります。かといって、削除するだけではなく、何かわかりやすく伝える工夫も必要だと思います。また、6ページ以降、各ページの4に、“こんな未来が待っています”とあります。そのために500円出してくださいねということではなく、こんな未来をあなたも一緒に、県民みんなで作っているのだよというような、主体的かつポジティブに関わっていくのだということ、表現

すると良いのではないかと思います。全てが“自分たちが関わっているのだよ”というメッセージ性があると良いと思います。

(事務局) “自分たちが関わっているのだよ”というメッセージはとても大切だと思うので、検討させていただきます。

(委員長) 今の委員の意見について、これは2ページ目を分かりやすく充実させて、ここで一言インパクトがあるようにしていただけると、その後に繋がると思いますし、能動的に緑をつくるということについても、未来に希望が持てるような、積極的に関わるというような言葉を入れると、良いのではないかと思います。文字数もまだ多いですし、この2ページをもっと充実させて分かりやすくして、500円ということをここでかなり強調できると良いかと思います。

(事務局) 文字数を減らし、より伝わりやすい表現となるように検討してまいります。

(委員) 2ページが私も引っかかっています。森と緑は、私たちがこの先、豊かに生きていくために無くてはならないものであり、とても大きな意味を持つのだと。そして、その森と緑は自分たちで作り作っていくのだということ、500円と関連させながら伝えられるように、県の姿勢や、事業の目的を示せるといいと思います。

(事務局) 森や緑が私たちに与えてくれる恩恵というのは、災害防止などそんな単純な問題ではなく、私たちの生活に役立っており、それを共有するためにも、この先どう関わっていくのかという根幹に関わることだと思います。委員のお言葉をお借りしながら、表現していきたいと思います。

(委員) 全体としては、本当に分かりやすく、絵本のような構成になって良くなっていると思います。しかし、以前に委員長が言っていました“哲学的メッセージ”が、冒頭の2ページ等で分かりやすく伝えられると良いと思います。

(委員長) 他に意見ありますか。お願いします。

(委員) 先ほども話題になっておりましたが、4～5ページについてですが、4つのテーマになっております。しかし、6ページ以降については6つのテーマに分かれております。例えば、6ページ以降の“あなたの500円で”という言葉無くしたら、その空いた部分に4～5ページのテーマを見出しのようにつけ

たら、分かりやすいのではないのでしょうか。さらに、その見出しの色を、テーマごとに色分けすることで、見やすくなるのではないかと思います。

(事務局) 色分けはとても良いアイデアだと思いますので、参考にさせていただきます。また、テーマの数に関しても、関連性を持たせ分かりやすくできるよう、考えていきます。

(委員) 今のデザインについて、色分けするのはとてもいいと思います。しかし、色んな色を使いすぎるとごちゃごちゃになると思うので、例えば緑の濃さで3種類使用する等の工夫をされると良いと思います。

(委員長) では、委員の皆さまから貴重なご意見をたくさんいただきましたので、参考にして進めてください。それでは次第の3「その他」に移ります。あいち森と緑づくり事業に関する事で、何かありましたらお願いします。

(委員) 先ほどの概要版の冊子について、今後の校正スケジュールを教えてください。

(事務局) 12月上旬に校了の予定です。最終案、委員長にお見せし、確認後皆さまへお配りする予定です。

(委員) 私たちが意見を言えるのは、今日が最後ですか。

(事務局) 委員会のご意見をいただくのは、今日が最後です。それ以降のご意見は、まだ校了までに少し時間がありますので、個別でお願いします。

(委員) 今日出た意見を反映されたものが出来上がると思いますが、それを見て意見を言う場があるかどうか教えてください。

(事務局) スケジュールの都合上、委員長の確認のみで進めさせていただきたいと思います。

(委員長) 時間が無い事を承知のうえで、メール等で一度各委員へ配布することは可能ですか。

(事務局) 今回の意見を反映したものを、確認していただけるように調整します。

(事務局) 最終校正の今後のスケジュールにつきましては、企画会社と事務局にて打合せを行った後、委員の皆さまへご連絡させていただきます。

(委員長) それでは、もし可能であれば、入稿前に一度、委員の皆さんからも意見をいただけるように、調整してください。また、委員の皆さんは、今後は軽微な修正のみということで、ご承知おきください。

(委員) 人工林について質問です。人工林は、スギやヒノキを育てているイメージですが、花粉症が年々増えてきており、これはスギやヒノキを植えすぎた影響が要因としてあるのではないかと思います。この花粉症がもたらす損害は、薬代や病院での診察料など、非常に大きなものだと思います。日本全国、人工林といえばスギ・ヒノキです。この人工林を今後も引継ぎ・育成していくのでしょうか。近年では、スギなど花粉が少ない品種の開発が進んでいるということも聞きますが、花粉症という弊害を無くすために、スギやヒノキの人工林をこれまでと同様に育成していくことが本当に良いのかどうかという点について、ご意見をお聞かせください。

(委員長) これはなかなか難しい問題だと思いますが、いかがでしょうか。

(事務局) 確かにスギやヒノキが、愛知県にはたくさんあります。これは、戦後焼け野原を復興するために必要な木材が、日本各地で求められたためです。建築用材として最も優れていたのが、元々日本にあったスギやヒノキです。その中でも愛知県のスギは強度があり、全国の中でも評価が高いものです。また、ヒノキはまっすぐ育つことから材としてとても使いやすいという理由で、植林がされてきました。先ほど植えすぎたというご意見もありましたが、スギやヒノキを植えたのは、当時は国策であったということもあるでしょうし、持っている土地がスギやヒノキを植えることで、財産に変わるのであればとの理由などから、植林が行われてきたというのが実態です。今後につきましては、愛知県でも花粉が少ないスギの生産を進めております。このあいち森と緑づくり事業では、間伐を主体に行っておりますが、間伐だけでは樹種を変えていくということはなかなか出来ません。そのため、県では循環型林業を進めておりまして、主伐・皆伐後の再植林では、森林所有者の意向を踏まえ、スギを植えるのであれば少花粉スギを推奨していき、他の樹種を植えたいのであれば適地適木で植えていただくのが、県としての方向性になるかと思います。

(委員) 個人的な考えですが、最初に言われた戦後にスギやヒノキが必要であったということは、当然理解ができます。しかし、残念ながら林業としては成り立

っていない現状のなかで、引き続きスギやヒノキを植えて育てていくことが、この先本当に必要なのかなと思い、質問させていただきました。ありがとうございました。

(委員長) それでは、本日の委員会は以上とさせていただきます。